

# 常任委員会審査報告

## 平成28年 9月定例会 開会



平成28年9月定例会を8月31日から9月28日までの29日間の会期で開き、補正予算や決算認定など30件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

### 平成28年佐久市議会9月定例会 議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
79	専決処分報告について	◎
80	佐久市佐久平交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
81	佐久市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	◎
82	佐久市駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について	◎
83	佐久市交流拠点施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
84	佐久市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について	◎
85	佐久市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	◎
86	佐久市特別養護老人ホーム結いの家における漏水事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	◎
87	市道の路線認定について	◎
88	平成27年度佐久市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
89	平成27年度佐久市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
90	平成27年度佐久市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
91	平成27年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計歳入歳出決算認定について	◎
92	平成27年度佐久市特別養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算認定について	◎
93	平成27年度佐久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
94	平成27年度佐久市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
95	平成27年度佐久市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	◎
96	平成27年度佐久市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	◎
97	平成27年度佐久市環境エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
98	平成27年度佐久市工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
99	平成27年度佐久市茂田井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	◎
100	平成27年度佐久市国保浅間総合病院事業特別会計決算認定について	◎
101	平成27年度佐久市下水道事業特別会計決算認定について	◎
102	平成28年度佐久市一般会計補正予算(第4号)について	◎
103	平成28年度佐久市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	◎
104	平成28年度佐久市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	◎
105	平成28年度佐久市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	◎
106	平成28年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建築(本体)工事請負契約について	◎
107	平成28年度佐久市一般会計補正予算(第5号)について	◎
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	◎

【結果の表示】 ◎ 全会一致で同意・認定・可決  
○ 賛成多数で同意・認定・可決  
△ 賛成少数で不採択

#### 平成28年度一般会計補正予算 原案可決

総務文教委員会 委員長 高橋 良衛

主な補正予算  
・地域おこし協力隊活動経費  
・市内小中学校のグラウンドが固くなってしまったため、最初の状態を維持するための用具購入経費

#### ◆こんな意見・質問が出ました

**意見**  
・地域おこし協力隊活動経費について  
協力隊員の任期は最長で3年とのことだが、現在協力していただいている事業終了後も住み続けていただくための方策を一緒に考えていただきたい。

**質問**  
・小中学校グラウンド整備の用具購入について  
Q グラウンド整備用具の使用はだれが行うのか。  
A 用務員さんや部活動の顧問等のみなさんをお願いしていく。



#### 念願の野球場建築本体工事に着工する

経済建設委員会 委員長 関本 功

・野球場建築本体工事請負契約について  
鉄筋コンクリート造・2階建て・延べ面積922・03平方メートルの野球場メインスタンド本体を2億3千万円余りで建築する契約を、原案可決と決しました。

#### ◆こんな質問が出ました

**AQ** 球場の方位はどのように検討されたか。  
現状と過去の最多風向を基に、本塁を北側に、投手を南側に配置しプレーヤーを主体とした南方角の野球場を設計した。

**AQ** グラウンドの大きさはどうか。  
本塁からセンター間が122・0m、両翼が99・1mのグラウンド設計です。

**AQ** 球場の収容人数は。  
全体収容人数は8,350人で、内野席が1,800人、外野席が、6,550人です。

**AQ** メインスタンド席は個席508席、ベンチ席772席、車いす席6席です。



野球場建設予定地を視察

#### 無年金者対策等の推進を求める陳情及び意見書を採択

社会委員会 委員長 江本 信彦

本陳情は、平成24年に成立した無年金者への対策等の法律を受けて、その救済策として財源確保の上早期に実現するよう要望するものです。委員会審議の結果、全会一致で陳情を採択しました。

#### ◆こんな意見が出ました

**意見**  
・安心して老後を暮らすためには大事なことであるので賛成である。  
・年金受給資格期間を25年から10年に短縮すれば無年金者の約4割に当たる17万人が受給権を得られる可能性がある。消費税10%といった財源を確保した上で、できるだけ早期に実現を求めていくべきと考えられるので賛成である。

